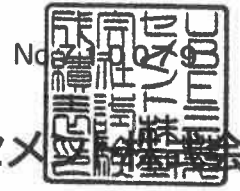


セメント試験成績表

2025年12月度

UBE三菱セメント株式会社





種類 品質	普通ポルトランドセメント JIS R 5210				早強ポルトランドセメント JIS R 5210				高炉セメントB種 JIS R 5211				
	JIS 規格値	試験成績			JIS 規格値	試験成績			JIS 規格値	試験成績			
		平均値	標準偏差	最大値 (最小値)		平均値	標準偏差	最大値 (最小値)		平均値	標準偏差	最大値 (最小値)	
密度 g/cm ³	—	3.16	—	—	—	3.14	—	—	—	3.04	—	—	
比表面積 cm ² /g	2500以上	3210	75	—	3300以上	4530	87	—	3000以上	3950	83	—	
凝結	水量 %	—	27.8	—	—	30.3	—	—	—	29.6	—	—	
	始発 h-min	60min以上	2-09	—	(1-40)	45min以上	1-40	—	(1-15)	60min以上	2-41	—	(2-20)
	終結 h-min	10h以下	3-15	—	4-35	10h以下	2-39	—	3-30	10h以下	4-00	—	5-55
安定性	バット法	良	良	—	—	良	良	—	—	良	良	—	—
圧縮強さ N/mm ²	1 d	—	—	—	—	10.0以上	26.0	1.50	—	—	—	—	
	3 d	12.5以上	30.8	1.57	—	20.0以上	47.6	1.65	—	10.0以上	21.8	1.42	—
	7 d	22.5以上	45.7	1.71	—	32.5以上	59.2	1.84	—	17.5以上	33.5	1.64	—
	28 d	42.5以上	61.1	1.83	—	47.5以上	67.4	1.92	—	42.5以上	59.7	1.93	—
水和熱 J/g	7 d	—	329	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	28 d	—	383	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
化学成分 %	酸化マグネシウム	5.0以下	1.09	—	1.62	5.0以下	0.99	—	1.66	6.0以下	3.19	—	3.69
	三酸化硫黄	3.5以下	2.38	—	2.58	3.5以下	2.88	—	3.25	4.0以下	2.18	—	2.27
	強熱減量	5.0以下	2.47	—	2.98	5.0以下	1.12	—	1.33	5.0以下	1.62	—	2.15
	全アルカリ	0.75以下	0.48	—	0.63	0.75以下	0.45	—	0.63	—	—	—	—
	塩化物イオン	0.035以下	0.019	—	0.025	0.02以下	0.006	—	0.016	—	0.012	—	—

備考 ○ ポルトランドセメント（全アルカリの最大値のうち直近6ヶ月の最大値）
 ・普通ポルトランドセメント…………… 0.63%
 ・早強ポルトランドセメント…………… 0.64%
 ○ 高炉セメントB種
 ・ベースセメントの全アルカリ…………… 0.48%
 ・高炉スラグの分量…………… 40~45%
 1. 試験方法は JIS R 5201、JIS R 5202、JIS R 5203、JIS R 5204 による。
 2. 28d圧縮強さおよび28d水和熱は前月度の値を示す。



12/1
合

◎ お問い合わせその他のご連絡先
 〒730-0031 広島市中区紙屋町2-1-22
 広島興銀ビル8F
 UBE三菱セメント株式会社
 中国支店
 TEL 082-247-9613

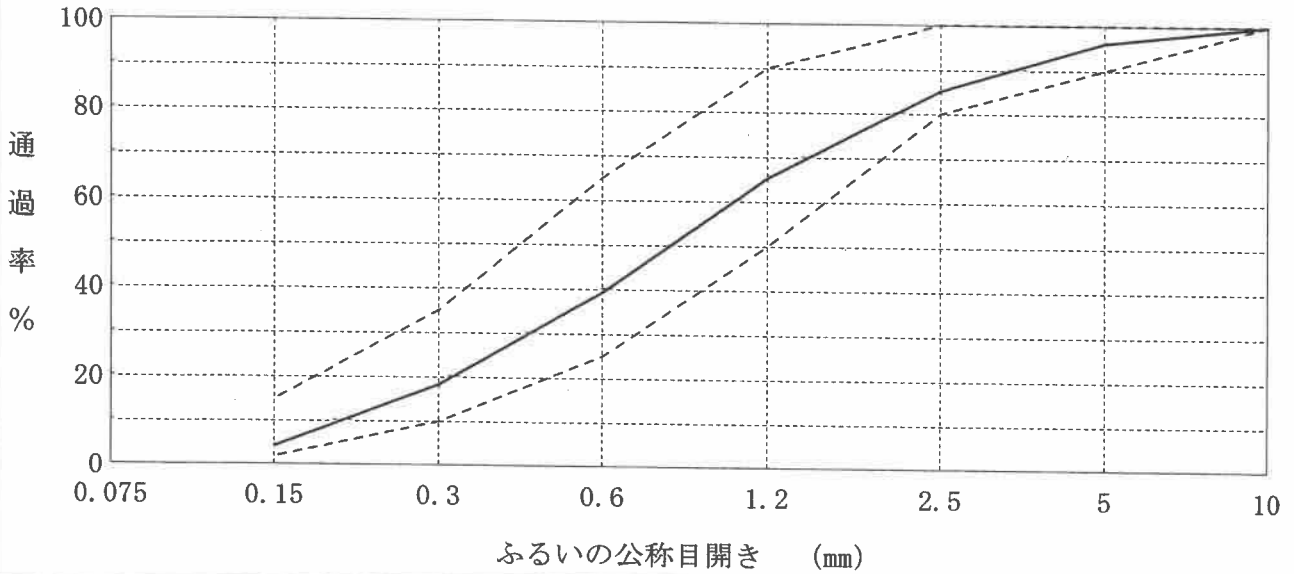
試験規格	骨材のふるい分け試験表	検 印 欄	
JIS A 1102		主 任	試験係
			

試験月日	令和 7年12月 2日
試 料	産地品名 津山市加茂町知和 採取月日 令和 7年12月 1日 採取場所 ダンプトラック上



ふるい分け前の試料の質量				501.7 (g)		ふるい分け方法		手動				
ふるいの 公称目開き (mm)	連続する各ふるいの間にとどまる 試料の質量及び質量分率				各ふるいに とどまる試料の 質量及び質量分率		各ふるいを 通過する もの質量分率		連続するふるい の間にとどまる もの質量分率		範 囲	参 考
	縮分① (g)	縮分② (g)	縮 分 計 mr(g)	(%)	(g)	(%)	(%)	(%)	上 限	下 限	$\frac{A\sqrt{d}}{300}$	
10	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0	100	0	100	100	---	
5	17.6	0.0	17.6	4	17.6	4	96	4	100	90	228	
2.5	53.0	0.0	53.0	11	70.6	15	85	11	100	80	161	
1.2	101.7	0.0	101.7	20	172.3	35	65	20	90	50	114	
0.6	69.3	65.7	135.0	26	307.3	61	39	26	65	25	81.1	
0.3	53.2	53.7	106.9	21	414.2	82	18	21	35	10	57.4	
0.15	33.5	36.0	69.5	14	483.7	96	4	14	15	2	40.6	
受皿	9.3	8.5	17.8	4	501.5	100	0					
合 計			501.5	100								

粗 粒 率	2.93	規 格 値	2.90±0.15	判 定	◎
連続するふるいの間にとどまるものの質量分率		規 格 値 (%)	45未満	判 定	◎
ふるい分け前後の試料質量差	0.0	規 格 値 (%)	1.0未満	判 定	◎

粒 度 曲 線



備考：

試験規格	骨材のふるい分け試験表	検印欄	
JIS A 1102		主任	試験係
			

試験月日	令和 7年12月 2日
------	-------------

試料	産地品名	津山市加茂町知和
	採取月日	令和 7年12月 1日
	採取場所	ダンプトラック上

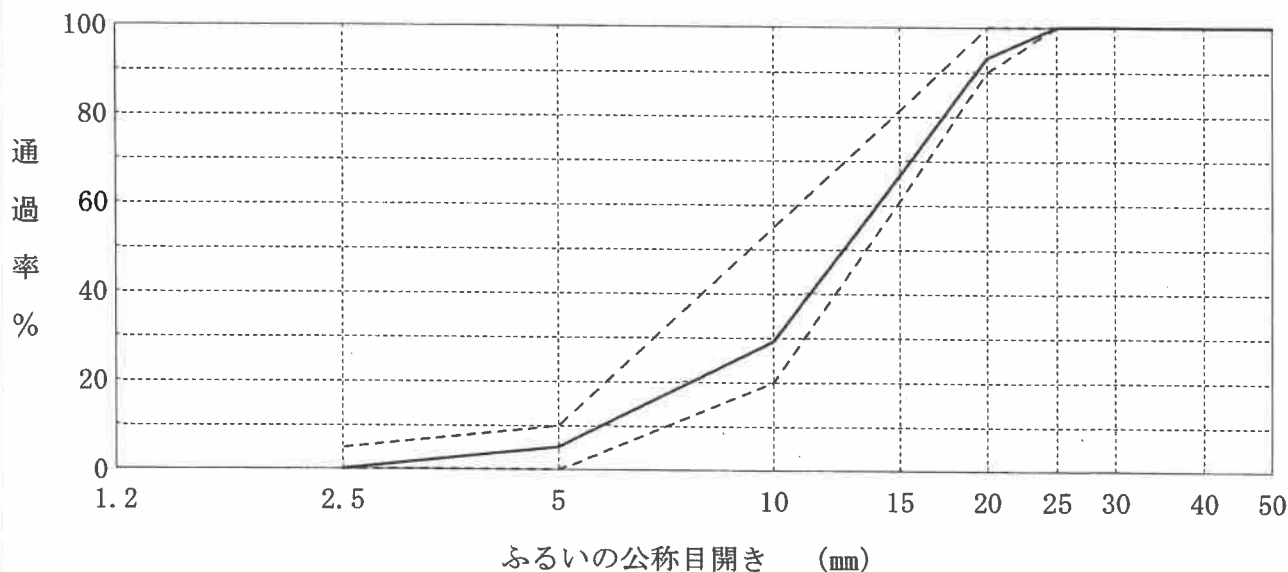
ふるい分け前の試料の質量	5081.6 (g)	ふるい分け方法	手動
--------------	------------	---------	----

ふるいの公称目開き (mm)	連続する各ふるいの間にとどまる試料の質量及び質量分率		各ふるいにとどまる試料の質量及び質量分率		各ふるいを通過する質量分率 (%)	範囲 上限 下限 (%)	
	(g)	(%)	(g)	(%)			
50	0.0	0	0.0	0	100	100	100
40	0.0	0	0.0	0	100	100	100
30	0.0	0	0.0	0	100	100	100
25	0.0	0	0.0	0	100	100	100
20	342.4	7	342.4	7	93	100	90
15						- - -	
10	3297.0	64	3639.4	71	29	55	20
5	1198.0	24	4837.4	95	5	10	0
2.5	243.9	5	5081.3	100	0	5	0
受皿	0.0	0	5081.3	100	0		
合計			5081.3	100			

粗粒率	6.73	規格値	6.85±0.20	判定	⊕
-----	------	-----	-----------	----	---

ふるい分け前後の試料質量差	0.0	規格値 (%)	1.0未満	判定	⊕
---------------	-----	---------	-------	----	---

粒度曲線



備考：



試験報告書

株式会社 ふじもと組 殿
岡山県津山市加茂町小淵29-1

試験品内容： [種 別] JIS A 5308:2024 附属書JA「レディミクストコンクリート用骨材」
JIS A 5005:2020「コンクリート用砕石及び砕砂」
粗骨材 コンクリート用砕石 2005 A (岩質：安山岩)
[大 き さ] 20～5mm
[採 取 日] 2024年11月29日
[産 地] 岡山県津山市加茂町知和
[採 取 場 所] ストックヤード
[製 造 業 者] (株)ふじもと組

試験項目： 1. 骨材のアルカリシリカ反応性試験 (モルタルバー法) ✓

受領日(試料持込日)： 2024年 12月 12日

試験日： 2024年 12月 12日 ～ 2025年 6月 25日

試験結果： 次頁以降のとおり

特記事項： —

試験実施場所：一般財団法人 日本品質保証機構 関西マテリアルテクノ試験所 試験室

(注) 1. 上記試験品は、試験申込者により試験実施場所へ持ち込まれたものである。
2. 試験品内容等については、試験申込者提出の試験申込書に基づき表記したものである。
3. 試験結果は当該試験品に対する結果であり、製品すべてを保証するものではありません。

試験の結果は、上記のとおりであることを報告します。

2025年 6月 27日

大阪府東大阪市水走3丁目8番19号
一般財団法人 日本品質保証機構
関西マテリアルテクノ試験所

所 長 井上 環

技術管理者 那良 時義



この試験報告書の転載、一部分の複製をするときは、事前に当機構の承認を受けてください。
尚、報告書には改ざん防止策を施しています。

一般財団法人 日本品質保証機構



7/3

1. 骨材のアルカリシリカ反応性試験（モルタルバー法）

(1)試験方法 JIS A 1146:2022「骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(モルタルバー法)」による。

・粒度調整した代表試料の粒度分布：粒度区分A

・湿度95%以上を確保した手段：吸取紙による被覆及び容器底面の水張り

(2)使用したセメント ・種別：普通ポルトランドセメント

・販売会社名：一般社団法人 セメント協会

・酸化ナトリウム(Na₂O) 0.27 %

・酸化カリウム(K₂O) 0.38 %

・全アルカリ量(R₂O) 0.52 %

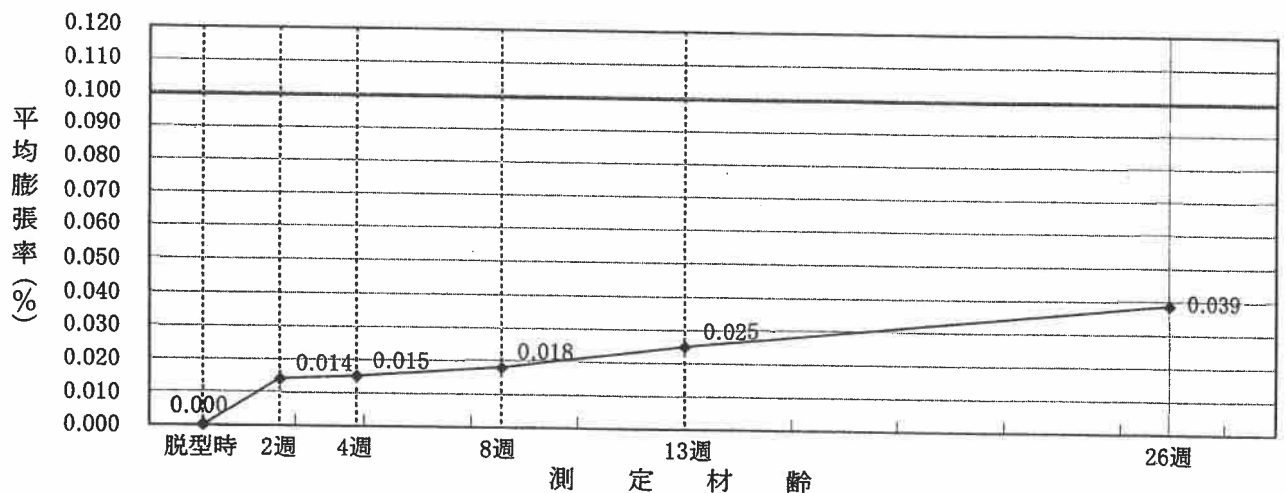
・水酸化ナトリウム水溶液を加えた後のセメントの全アルカリ量：1.2 %

(3)判定基準 骨材のアルカリシリカ反応性の判定は、供試体3本の平均膨張率が、測定材齢26週で0.100%未満の場合は、「無害」とし、0.100%以上の場合は「無害でない」とする。

[備考] なお、測定材齢13週で0.050%以上の膨張を示した場合は、その時点で、「無害でない」としてもよい。測定材齢13週で0.050%未満のものは、その時点で、「無害」と判定してはならず、測定材齢26週まで試験を続けた後に判定しなければならない。

(4)試験結果

膨張率 (%)	測定材齢	脱型時	2週	4週	8週	13週	26週	判定
	試験No.							
1	—	0.015	0.015	0.018	0.025	0.040	無害 ✓	
2	—	0.014	0.016	0.019	0.026	0.039		
3	—	0.013	0.014	0.017	0.023	0.038		
平均	0.000	0.014	0.015	0.018	0.025	0.039		
外観観察	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし		





試験番号 A-25-5-0030 1/2
受付日 令和 7 年 6 月 9 日
発行日 令和 7 年 12 月 12 日

骨材のアルカリシリカ反応性試験結果報告書

【モルタルバー法】

JNLA登録試験事業者
ベルテクス株式会社 試験分析センター
福井県鯖江市二丁掛町7番地
TEL:0778-62-1000 FAX:0778-62-7723
発行責任者 センター長 小林 宏成

試験結果は、本報告書のとおりであることを証明します。

Table with 4 main sections: 1. 依頼者 (Client info), 2. 試験日 (Test date), 3. 試験方法 (Test method details including JIS A 1146:2022 and chemical analysis), 4. 試験結果 (Test results table showing expansion rates for 26 weeks and observation results).

<本書の取扱いについて>

- 本書の試験結果は、本書中に記載の試験体について得られたものです。
• 本書を複製して第三者に開示する場合は、必ず全文を複製することとし、一部分だけの複製は行わないで下さい。
• 本書の内容を転載する場合は、文書により事前に本所の承認を得るようにして下さい。

Table with 2 columns: 技術管理者 (Technical Manager) 榎田 直也, 試験担当者 (Test Operator) 江指 尚美





(株)きたむら

御中

2025年 7月度～2025年12月度 コンクリート用化学混和剤(JIS A 6204)試験結果報告書

種類 高性能減水剤 (I種)

商品名 シーカ ビスコクリート ACE 390 (100%)



1. コンクリートの試験結果

項目		JIS A 6204による規定値	形式評価試験値	性能確認試験値	
フレッシュ コンクリート	減水率 %	12 以上	15 ✓	15	
	ブリーディング量の比 %	— 以下	—	—	
	ブリーディング量の差 cm^3/cm^3	— 以下	—	—	
	凝結時間の差分	始発	+90 以下	-30 ✓	-30
		終結	+90 以下	-35 ✓	-50
	経時変化量	スランプ cm	— 以下	—	—
空気量 %		— 以内	—	—	
硬化 コンクリート	圧縮強度比 %	材齢1日	— 以上	—	
		材齢2日 (5°C)	— 以上	—	
		材齢7日	115 以上	133 ✓	149
		材齢28日	110 以上	119 ✓	135
	長さ変化比 %	110 以下	94 ✓	—	
	凍結融解に対する抵抗性 (相対動弾性係数 %)	— 以上	—	—	

注記 1. 1m^3 当たりの化学混和剤の使用量 形式評価試験 7.00 kg/m^3 性能確認試験 7.00 kg/m^3

注記 2. 性能確認試験は6か月ごとに1回実施し、この表に表示している試験値は、2025年 5月 の試験結果である。ただし圧縮強度の性能確認試験は1年に1回実施し、この表に表示している試験値は、2025年 5月 の試験結果である。

注記 3. この表に表示している形式評価試験は、2024年 9月 に ホヰリス ソリューションズ 株式会社技術開発センターで実施した試験結果である。

2. 塩化物イオン(Cl⁻)量及び全アルカリ量

項目	JIS A 6204による規定値	形式評価試験値	性能確認試験		
			化学混和剤中の含有量	1m^3 当たりの化学混和剤の使用量	試験値
塩化物イオン(Cl ⁻)量	0.02 kg/m ³ 以下	0.00 kg/m ³	0.00 %	7.00 kg/m ³	0.00 kg/m ³
全アルカリ量	0.30 kg/m ³ 以下	✓ 0.03 kg/m ³	0.4 %	7.00 kg/m ³	0.03 kg/m ³

注記 1. 性能確認試験は6か月ごとに1回実施し、この表に表示している試験値は、2025年 5月 の試験結果である。

注記 2. この表に表示している形式評価試験は、2024年 9月 に ホヰリス ソリューションズ 株式会社技術開発センターで実施した試験結果である。

3. その他の項目

項目	規格値	試験値
密度 (g/cm ³ , 20°C)	1.01 ~ 1.07	1.03 ✓

注記. この表に表示している試験値は、2025年 5月 の試験結果である。

コンクリート中の塩素イオン含有量測定データ
(道路用)

株式会社 きたむら

7年 12 月度

製品名:

測定器具: ソルメイト100



月 日	No.	コンクリート中の塩素 イオン含有量 (kg/m ³)	平均値 (kg/m ³)	規定値 (kg/m ³)	合否 判定
12/1	1	0.024	0.024	0.3以下	合
	2	0.020			
	3	0.028			
12/8	1	0.020	0.023	"	合
	2	0.024			
	3	0.024			
12/15	1	0.026	0.024	"	合
	2	0.020			
	3	0.026			
12/22	1	0.024	0.024	"	合
	2	0.024			
	3	0.024			
	1				
	2				
	3				
備 考	測定器具は (財) 国土開発技術研究センター評価品				

アルカリ総量計算

令和7年12月度

(道路用)

株式会社きたむら

鳥取県鳥取市国府町岡益64-4番地

配合

単体量(kg/m ³)				
水	セメント	砕石	砕砂・鑄物砂	混和剤
175	358	1083	775	5.37

ポルトランドセメント全アルカリ6ヶ月間の最大値 0.63 %

骨材中のNaClの量 0.0 %

混和剤中の全アルカリ量 0.4 %

コンクリート中のセメントに含まれる全アルカリ量(kg/m ³): R _c R _c = (単位セメント量kg/m ³) × (セメント中の全アルカリ量Na ₂ O _{eq} : %/100)	R _c = 2.255
コンクリート中の混和材に含まれる全アルカリ量(kg/m ³): R _a R _a = (単位混和材量kg/m ³) × (混和材中の全アルカリ量: %/100)	R _a = 0.000
コンクリート中の骨材に含まれる全アルカリ量(kg/m ³): R _s R _s = (単位骨材量kg/m ³) × 0.53 × (骨材中のNaClの量: %/100)	R _s = 0.000
コンクリート中の混和剤に含まれる全アルカリ量(kg/m ³): R _m R _m = (単位混和剤量kg/m ³) × (混和剤中の全アルカリ量: %/100)	R _m = 0.021
流動化剤を添加する場合は、コンクリート中の流動化剤に含まれる全アルカリ量(kg/m ³): R _p R _p = (単位流動化剤量kg/m ³) × (流動化剤中の全アルカリ量: %/100)	R _p = 0.000
コンクリート中のアルカリ総量(kg/m ³): R _t R _t = R _c + R _a + R _s + R _m + R _p	R _t = 2.28

コンクリート中のアルカリ総量を規制する抑制対策 3.0kg/m³以下2.28 Kg/m³ < 3.0Kg/m³ 判定 適

以上